

2021年1月号

1月15日(金)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 292

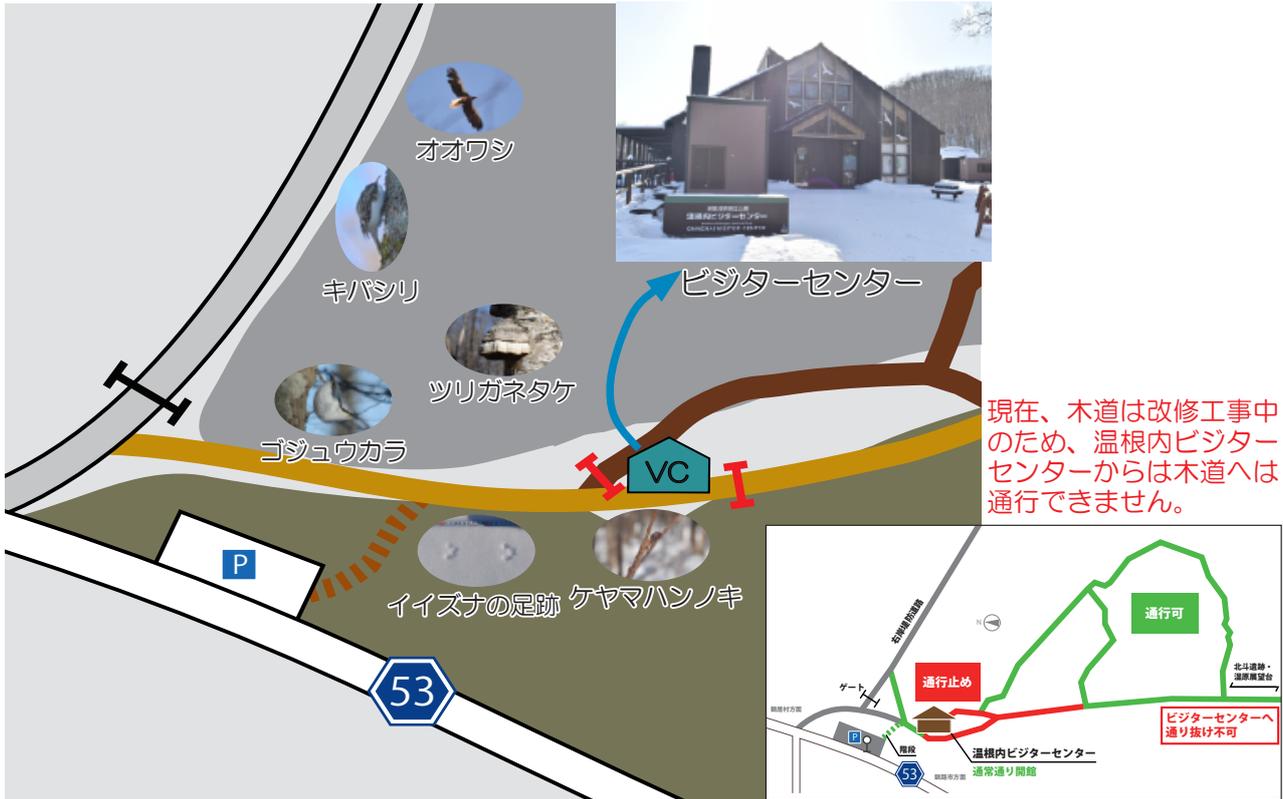


厳寒の初日の出…

新年が始まりました。昨年は思いもかけない1年となりましたが、今年はいよいよ方向へ向かっていくことを祈るばかりです。

釧路湿原はしばらく雪が積もらず、マイナス20℃寒い日ばかりが続いていましたが、年が明けて真っ白な雪原となり、いつもの冬の風景が戻ってきました。

☆☆☆温根内ビジターセンター周辺の自然情報☆☆☆



現在、木道は改修工事のため、温根内ビジターセンターからは木道へは通行できません。

～温根内ビジターセンター周辺の自然～



【ケヤマハンノキ (冬芽)】
カバノキ科 毛山榛の木
葉を落とした樹木はじっと
冬を耐えています。葉痕と
呼ばれる葉のついた跡が本
種のように人の顔のように
見えるものもあります。



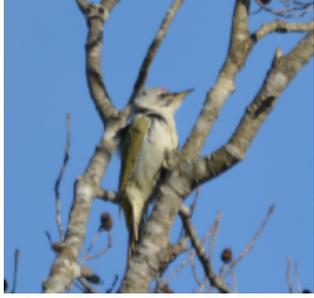
【ツリガネタケ】
タコウキン科 釣鐘茸
名前の通り、釣鐘のような
面白い形をしたキノコが枯
れた木の幹に生えています。
毎年生長し、徐々に大き
くなっていきます。



【イイズナの足跡】
イタチ科
足跡が点々と残ってしまし
た。世界最小のイタチ科で
す。この周辺に生息してい
るのは確かですが、滅多に
お目にはかかれません。



【ゴジュウカラ】
ゴジュウカラ科 五十雀
他の種と混群を作って餌を
探しています。頭を逆さに
して、ちょこちょこと木の
幹を移動する姿が愛らしい
です。



【ヤマゲラ】 留鳥
キツツキ科 山啄木鳥
稀に見かけるキツツキの仲
間。見た目は樹木に溶け込
んで少しわかりにくいですが、
寂しげな鳴声が際立ち
ます。



【オオワシ】 冬鳥
タカ科 大鷲
この時期、上空を飛ぶ姿が
時折見られます。「冬の使
者」の名にふさわしい存在
感。絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
に指定されています。

○表紙の写真 上：釧路湿原の初日の出 中右：枯れたスゲについた霧氷 中左：キバシリ 下：氷柱

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（12月15日～1月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■アオサギ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■ノスリ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■クマゲラ■ヤマゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ■セグロセキレイ■マヒワ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

☆☆☆ シルエットで見分けてみよう！オオワシ・オジロワシ ☆☆☆

冬鳥の季節です。釧路湿原をはじめ道東地方の各地には大型猛禽類の代表格、オオワシとオジロワシが今季もやって来ています。ここ温根内でも時折姿を現す両種ですが、「オオワシ、オジロワシ…どっち？」と迷うことが

ありませんか？（私もよくあります！）木に止まっていてゆっくり観察できる時は両種の区別は比較的簡単ですが、温根内周辺で確認



オオワシ



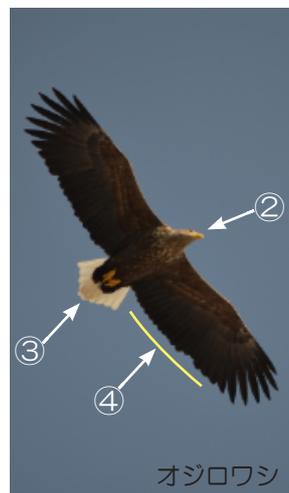
オジロワシ

する姿は上空を飛翔している場面がほとんどです。飛翔姿では、対象が遠かったり若い個体だったりする場合は特に、どちらか見分けにくいときが多々あります。そこで、ここでは飛翔姿に絞って、両種の見分け方を探っていきたいと思います。まず両種の大きさ（翼開長）ですが、北海道野鳥図鑑によるとオオワシは220～250cm、オジロワシは190～228cmとなっており、オオワシの方がやや大きいということがわかります。そして、見分ける際の一般的な特徴として以下のことが挙げられます。

- ①オオワシ（成鳥）の翼の前縁は白い
- ②オオワシの嘴はより大きく橙色みが強い
- ③尾羽のくさび形がオオワシの方がより長い
- ④翼の後縁がオオワシはやや膨らむのに対し、オジロワシ



オオワシ



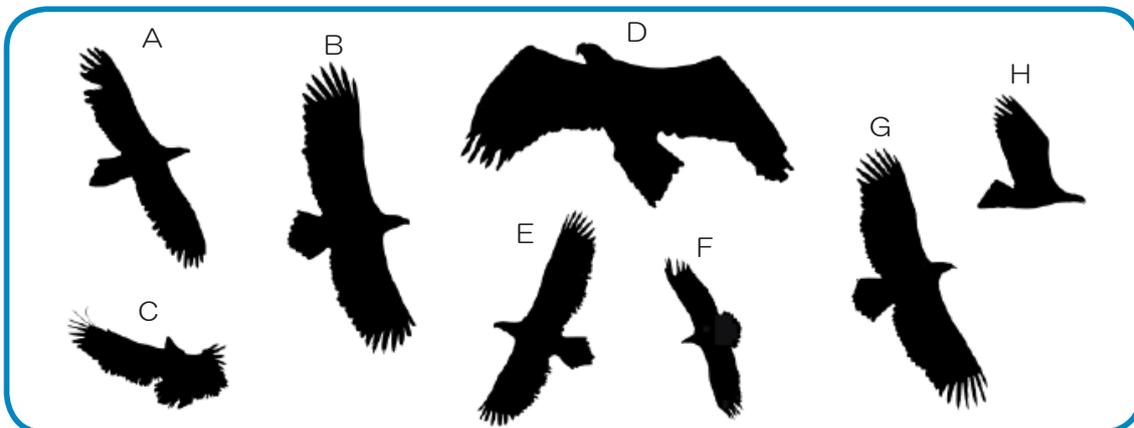
オジロワシ

シは直線的

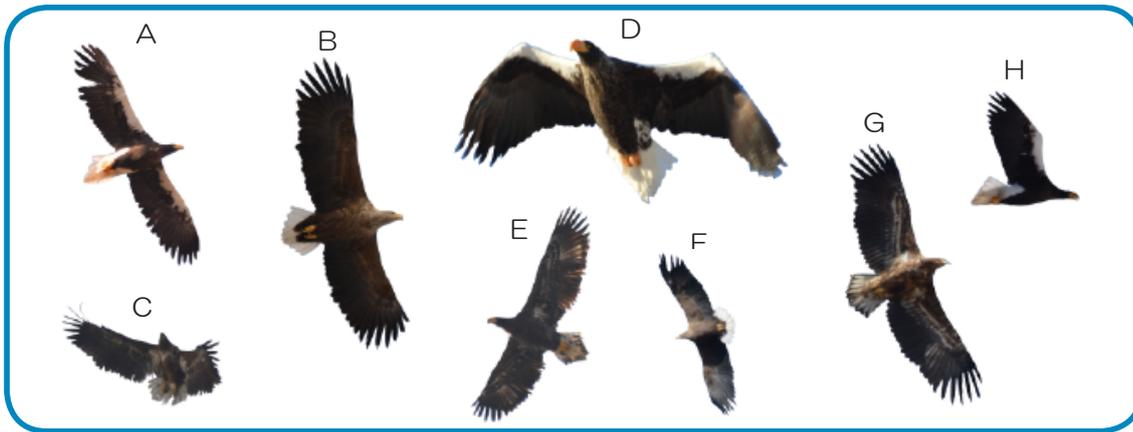
ただし、①と②に関しては注意が必要です。オオワシの若い個体は翼の前縁の白さが明瞭ではなく、嘴も顕著な橙色となりません。両種の若い個体どうしだと、色の特徴で見分けるのはとても難しくなります。そうすると、見分ける時に大切なポイントは、両種の全体的な特徴（外形）で捉えることです。

ではここでシルエットクイズ！下のシルエット、オオワシ・オジロワシ、どちらかわかりますか？ただし、大きさはあえてバラバラにしていますので、「形」だけで区別してみてください。特にキーになるのは、嘴の大きさと、尾羽の形です。解答は次のページに載っています。

オオワシ・オジロワシ シルエットクイズに挑戦！



※大きさは統一していません



正解
 A オオワシ
 B オジロワシ
 C オジロワシ
 D オオワシ
 E オオワシ
 F オジロワシ
 G オジロワシ
 H オオワシ

☆☆☆ トイレの改修工事が始まります ☆☆☆

1月20日(水)から、当センターのトイレの改修工事が始まります。このため20日以降は、館内のトイレはご使用できません。正面入口近くに設置しております仮設トイレをご使用ください。また、仮設トイレ内には手洗い用の水道が設置されておられませんので、その際は館内のトイレにある水道をご利用ください。

なお、木道の工事も進行中です。頻繁に工事車両が当センター入口近くを往来しますので、来館の際は十分にお気をつけください。ご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



☆☆☆☆ イベントのご案内 (2月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪アイヌの自然観 ～カムイ編～

〔日時〕2月7日(日) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

湿原の動物の痕跡を観察しながらアイヌ民族と「カムイ」について学びます。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪釧路湿原フィールドウォッチング

〔日時〕2月6日(土) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

♪紙粘土フィギュアを作ろう

〔日時〕2月13日(土) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕100円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～スキー・スノーシューのレンタルについて～

今年度は木道やトイレなどの大掛かりな工事が行われています。ビジターセンター周辺には工事車両が頻繁に出入りし、安全の確保が難しいため、今年度はスキー・スノーシューのレンタルは中止といたしました。楽しみにされていた方々には申し訳ありませんが、ご理解のほどお願い申し上げます。

月刊 温根内通信 No.292

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料